

(別添5)

事業所名 グループホーム しらゆり荻

2 目標達成計画

作成日: 平成 25 年 7 月 4 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	利用者家族の意見や要望を充分聞き出し工夫されているか自信がない。施設の、職員のペースになっていないかという思いがあります。意見箱はあるが気兼ねなく意見や要望が出せる雰囲気ではないのかもしれない。	家族と施設・家族と職員間の人間関係を築く。家族もケアに何らかの形でかかわれるような環境作りをする。	家族が気軽に意見が出せるような場面を設定する。 家族の連絡会を活用する。(一緒に支援する等 職員のコミュニケーションの能力を高める研修会を開く	8 ヶ月
2	20	利用者の個々の生活歴について情報が乏しく、職員は利用者の趣味や嗜好、馴染みの人、職業、場所について十分把握できていない。職員のペースで流れていないかと思えます。	利用者の生活歴を把握し、馴染みの人、場所との関係が保て利用者の居心地がいい環境づくりをする。	利用者の生活歴についての情報を収集し、職員の共有資料とする。 利用者の趣味、嗜好を尊重したサービスを提供する。	6 ヶ月
3	4	運営推進委員会で出された意見が職員全体に共有されてなく、サービス向上にいかされるところまで行っていない。	運営推進会議の意見を職員全員が共有し、サービスの向上に具現化する。	運営推進会議で出された意見を定例会議で報告し、職員全体の意見として認識を持って介護サービスに活かしたい。	6 ヶ月
4	13	災害時の訓練はしています。地域との協力体制も築いています。ただ、24年のような災害(水害)があれば非常時の備蓄も救助体制も一抹の不安はあります。	地域との連携をしながら非常時に対応します。備蓄をして非常時に備えます。	地域と連携を密にして災害発生時の避難対応が出来るよう訓練を行います。利用者の身体状況(歩行ができるか車椅子が必要か、会話が出来るか等)を解りやすくしておく。	6 ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。